

令和7年度

授業概要

Syllabus

理学療法学科

土佐リハビリテーションカレッジ

理学療法学科教育課程表

区分	教育内容	授 業			単 位 数				卒業要件 単位数	指定規則				
		科 目 名	実務	形式	種類	1年	2年	3年			4年			
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解	人間科学概論		講義	必修	2				17	14			
		社会福祉学概論		講義	必修		2							
		日本語表現法		講義	必修	2								
		保健用語		講義	必修	2								
		基礎英語		講義	必修	2								
		医学英語		講義	必修		2							
		医療統計学		講義	必修	2								
		情報処理入門		演習	必修	1								
		医療コミュニケーション論		演習	必修	1								
		保健体育		実技	必修	1								
	小 計				13	4	0	0						
専門基礎分野	人体の構造と機能 及び心身の発達	人体の構造機能入門		講義	必修	1				28	12			
		人体の構造Ⅰ		講義	必修	3								
		人体の構造Ⅱ		講義	必修	3								
		人体の機能Ⅰ		講義	必修	3								
		人体の機能Ⅱ		講義	必修	3								
		人体の構造機能演習		演習	必修	1								
		脳科学概論		講義	必修	2								
		人間発達学		講義	必修	2								
		運動学Ⅰ（総論・下肢）		講義	必修	2								
		運動学Ⅱ（上肢・体幹）		講義	必修	2								
		運動学実習		実習	必修	1								
		体表解剖学		実習	必修		1							
		運動生理学		講義	必修		2							
		神経生理学		講義	必修		2							
		疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	病理学		講義	必修	2						20	14
			病理学演習		演習	必修	1							
			内科学		講義	必修		2						
			整形外科科学		講義	必修		2						
			精神医学		講義	必修		2						
小児科学			講義	必修		2								
神経内科学			講義	必修		2								
臨床心理学			講義	必修		2								
整形外科科学演習			演習	必修		1								
神経内科学演習			演習	必修		1								
精神医学演習			演習	必修		1								
栄養と薬剤			講義	必修			1							
災害と救急救命			講義	必修			1							
保健医療福祉と リハビリテーションの理念	リハビリテーション概論		講義	必修	2				6	4				
	リハビリテーション医学		講義	必修	2									
	医療倫理学		講義	必修	1									
	作業療法概論		講義	必修			1							
	小 計				31	20	3	0	54	30				

区分	教育内容	授 業				単 位 数				卒業要件 単位数	指定規則			
		科 目 名	実務	形式	種類	1年	2年	3年	4年					
専 門 分 野	基礎理学療法学	理学療法概論Ⅰ（総論）	○	講義	必修	1				9	6			
		理学療法概論Ⅱ（評価・治療学）	○	講義	必修	1								
		理学療法研究法	○	講義	必修			1						
		臨床実習入門		講義	必修			1						
		理学療法セミナーⅠ（卒業研究計画）		演習	必修			1						
		理学療法セミナーⅡ（国家試験対策）		演習	必修				2					
		卒業研究		演習	必修				2					
	理学療法管理学	理学療法部門管理論		講義	必修			1		2	2			
		理学療法教育論		講義	必修			1						
	理学療法評価学	理学療法評価学Ⅰ（総論・バイタル・形態）	○	講義	必修	1				7	6			
		理学療法評価学Ⅱ（ROM・感覚）	○	講義	必修		1							
		理学療法評価学Ⅲ（筋力）	○	講義	必修		1							
		理学療法評価学Ⅳ（神経・画像評価）	○	講義	必修		1							
		理学療法評価実習	○	実技	必修		1							
		理学療法評価法演習	○	演習	必修		1							
		運動分析学	○	講義	必修		1							
	理学療法治療学	運動療法学Ⅰ（総論）	○	講義	必修		1			26	20			
		運動療法学Ⅱ（障害別各論）	○	講義	必修		1							
		物理療法学Ⅰ（温熱・光線療法）	○	講義	必修			1						
		物理療法学Ⅱ（電気療法）	○	講義	必修			1						
		装具療法学Ⅰ（下肢）	○	講義	必修		1							
		装具療法学Ⅱ（上肢・体幹）	○	講義	必修		1							
		義肢学		講義	必修			1						
		義肢装具学演習		演習	必修			1						
		日常生活活動学Ⅰ（総論）	○	講義	必修		1							
		日常生活活動学Ⅱ（障害別各論）	○	講義	必修		1							
		神経障害理学療法学Ⅰ（脳卒中）	○	講義	必修		1							
		神経障害理学療法学Ⅱ（神経筋疾患）	○	講義	必修		1							
		神経障害理学療法学Ⅲ（脊髄損傷）	○	講義	必修			1						
		発達障害理学療法学	○	講義	必修			1						
		運動器障害理学療法学Ⅰ（下肢）	○	講義	必修		1							
		運動器障害理学療法学Ⅱ（上肢）	○	講義	必修		1							
		運動器障害理学療法学Ⅲ（体幹）	○	講義	必修			1						
		スポーツ理学療法学		講義	必修			1						
		内部障害理学療法学Ⅰ（呼吸）	○	講義	必修			1						
		内部障害理学療法学Ⅱ（循環）		講義	必修			1						
		内部障害理学療法学Ⅲ（代謝・腎・がん）	○	講義	必修			1						
		医療機器概論		講義	必修			1						
		理学療法技術論（熱傷・褥瘡含む）	○	講義	必修			1						
		理学療法特論Ⅰ（臨床思考）		講義	必修			1						
		理学療法特論Ⅱ（症例検討）	○	講義	必修			1						
		理学療法特論Ⅲ（理学療法トピックス）		講義	必修				1					
		地域理学療法学	地域リハビリテーション学	○	講義	必修			1				3	3
			地域リハビリテーション演習	○	演習	必修			1					
			地域理学療法学		講義	必修			1					
		臨床実習	見学実習Ⅰ		実習	必修	1						22	20
	見学実習Ⅱ（訪問・通所リハ）			実習	必修			1						
臨床評価実習			実習	必修		3								
臨床総合実習Ⅰ			実習	必修			7							
臨床総合実習Ⅱ			実習	必修				10						
小 計					4	19	30	16	69	57				
総 計					48	43	33	16	140	101				

令和7年度 授業時間割表（3学年）

前期時間割

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1時限目 9:00 ～ 10:30	理学療法特論Ⅰ 川村 103講義室	物理療法学Ⅰ 岡部 103・204評価治療室	作業療法概論 作業療法学科教員 103講義室	理学療法セミナーⅠ 全教員 各セミナー室	義肢学：鶴見 または 内部障害理学療法学Ⅱ 大重・近藤 他	
2時限目 10:40 ～ 12:10	運動器障害理学療法学Ⅲ 奥田 103講義室	理学療法研究法 竹林他 402講義室	神経障害理学療法学Ⅲ 宮本（祥） 103講義室	地域リハビリテーション学 井上 103講義室	義肢学：鶴見 または 内部障害理学療法学Ⅱ 大重・近藤 他	
3時限目 13:20 ～ 14:50	地域リハビリテーション演習 近藤 103講義室	災害と救急救命 武田 他 または 栄養と薬剤 大坪・長崎	理学療法技術論 宮本省三 他 103講義室	内部障害理学療法学Ⅰ 宅間 103・204評価治療室	地域リハビリテーション学 滝本 103講義室	
4時限目 15:00 ～ 16:30		災害と救急救命 武田 他 または 栄養と薬剤 大坪・長崎	理学療法技術論 宮本省三 他 103講義室		地域リハビリテーション学 滝本 103講義室	
5時限目 16:40 ～ 18:10						

後期時間割

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1時限目 9:00 ～ 10:30	内部障害理学療法学Ⅲ 近藤 103講義室	スポーツ理学療法学 竹林 103講義室	物理療法学Ⅱ 岡部 103・204評価治療室	臨床実習入門 宅間 他 103講義室	発達障害理学療法学 宮本（祥） 103講義室	
2時限目 10:40 ～ 12:10	内部障害理学療法学Ⅲ 近藤 103講義室	スポーツ理学療法学 竹林 103講義室	物理療法学Ⅱ 岡部 103講義室	臨床実習入門 宅間 他 103講義室	発達障害理学療法学 宮本（祥） 103講義室	
3時限目 13:20 ～ 14:50	理学療法特論Ⅱ 奥田 103講義室	理学療法教育論 宮本・奥田・近藤 103講義室	義肢装具学演習 小谷 303ADL室	地域理学療法学 吉良 103講義室	理学療法管理論 非常勤講師 103講義室	
4時限目 15:00 ～ 16:30			義肢装具学演習 小谷 303ADL室	地域理学療法学 吉良 103講義室	医療機器概論 非常勤講師 103講義室	
5時限目 16:40 ～ 18:10						

- （注1）時間割は原則的なものであり変更する場合があります。
 （注2）内部障害理学療法学Ⅱは9月に集中講義の予定があります。

令和7年度 授業時間割表（4学年）

前期時間割

4月7日（月）～5月11日（金）

症例報告会他

5月12日（月）～7月19日（土）

臨床総合実習Ⅱ

7月28日（月）～8月2日（土）

見学実習Ⅱ

後期時間割

9月29日（月）～3月7日（土）

理学療法セミナーⅡ
理学療法特論Ⅲ
卒業研究

3～4年生理学療法学科教育課程表 目次

専門基礎分野	頁	専門分野	頁
栄 養 と 薬 剤	1	理 学 療 法 研 究 法	4
災 害 と 救 急 救 命	2	臨 床 実 習 入 門	5
作 業 療 法 概 論	3	理 学 療 法 セ ミ ナ ー I (卒 業 研 究 計 画)	6
		理 学 療 法 セ ミ ナ ー II (国 家 試 験 対 策)	7
		卒 業 研 究	8
		理 学 療 法 部 門 管 理 論	9
		理 学 療 法 教 育 論	10
		物 理 療 法 学 I (温 熱・光 線 療 法)	11
		物 理 療 法 学 II (電 気 療 法)	12
		義 肢 学	13
		義 肢 装 具 学 演 習	14
		神 經 障 害 理 学 療 法 学 III (脊 髓 損 傷)	15
		発 達 障 害 理 学 療 法 学	16
		運 動 器 障 害 理 学 療 法 学 III (体 幹)	17
		ス ポ ー ツ 理 学 療 法 学	18
		内 部 障 害 理 学 療 法 学 I (呼 吸)	19
		内 部 障 害 理 学 療 法 学 II (循 環)	20
		内 部 障 害 理 学 療 法 学 III (代 謝・腎・が ん)	21
		医 療 機 器 概 論	22
		理 学 療 法 技 術 論 (熱 傷・褥 瘡 含 む)	23
		理 学 療 法 特 論 I (臨 床 思 考)	24
		理 学 療 法 特 論 II (症 例 検 討)	25
		理 学 療 法 特 論 III (理 学 療 法 ト ピ ッ ク ス)	26
		地 域 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 学	27
		地 域 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 演 習	28
		地 域 理 学 療 法 学	29
		見 学 実 習 II	30
		臨 床 総 合 実 習 I	31
		臨 床 総 合 実 習 II	32

專門基礎分野

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 栄養と薬剤	1	3	前期	15	大坪 豊寿 <非常勤講師> 田中整形外科病院 管理栄養士 長崎 大武 <非常勤講師> プラス薬局 薬剤師

授業概要

生体が発育・成長して生命を維持し、健全な生命活動を営むために体外から取り入れる物質（栄養素）が必要である。栄養学を学習し、対象者及び自己の健康観や食生活の改善に繋げる。医療現場においては多職種が共通の科学的基礎と共通言語が必要であり、疾病別食事療法・低栄養の早期発見・重症化の予防なども含めて理解を深める。講義は資料を利用しながら進めていきます。

リハビリテーションの対象となる患者はさまざまな疾患を持っており、複数の疾患の治療が平行して行われていることが多いと思われます。内科的治療の主となるのは薬剤による治療となります。薬剤には、疾患を治療する効果がある反面、さまざまな副作用も存在します。安全にリハビリテーションを進めるためには薬剤の使用状況とその副作用に関する知識が必要となります。この授業では幅広い疾患に対する薬剤に関する知識を整理することを目指します。

学習目標

1. 栄養の基礎となる栄養学及び疾病別の食事療法について理解できる。
2. 臨床におけるリハビリテーション栄養の意義について理解できる。
3. 薬物の基本的事項について理解する。
4. 対象疾患に対する薬物療法について理解する。
5. 薬物の副作用と有害事象について理解する。

授業計画

回	主 題
1	リハビリテーションにおける栄養の意義
2	栄養素の種類と役割
3	リハビリテーション栄養・運動時の栄養
4	疾病別食事療法
5	定期試験
6	薬理作用
7	運動器系疾患に対する薬物療法について
8	神経系疾患に対する薬物療法について
9	その他の疾患に対する薬物療法について
10	定期試験

履修の認定 出席状況と受講態度、定期試験

教科書 資料、プリント等の配布

- 参考書
1. PT・OT・STのためのリハビリテーション栄養（医歯薬出版株式会社）
 2. 専門基礎分野 栄養学 人体の構造と機能（医学書院）
 3. 生化学・栄養学（医歯薬出版株式会社）
 4. リハに役立つ治療薬の知識とリスク管理
 5. リハビリテーション**薬剤**
 6. **リハベーシック薬理学・臨床薬理学**

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 災害と救急救命	1	3	前期	15	日本赤十字社スタッフ<非常勤講師>日本赤十字社高知県支部 武田 陽平<非常勤講師>高知赤十字病院理学療法士 森下 誠也<非常勤講師>田野病院 理学療法士

授業概要

本科目では、救急医療と災害医療について学ぶ。

最初に、救急医療について学ぶ。高度化する医療ニーズに対応するためには、救急救命医学の基礎知識が不可欠である。授業では日本赤十字社の基礎講習の受講を通して、緊急を要する病態や外傷に関する知識を深め、一次救命処置の方法を習得する。

授業の中盤からは、災害医療について学ぶ。理学療法士は、DMAT (Disaster Medical Assistance Team) や JRAT (Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team) 等、災害時の医療チームの構成員として、大規模災害発生時には被災地に赴き、活動を展開している。授業では災害時の医療チームに所属する理学療法士から、災害医療の目的や特徴に関する講義、実際の活動紹介などを聞き、災害医療における理学療法士の役割について理解を深める。

学習目標

1. 傷病者の観察と一次救命処置を理解し実践できる。
2. 災害医療の目的や特徴を説明できる。
3. 災害医療における理学療法士の役割について説明できる。

授業計画

回	主 題
1	赤十字救急法 基礎講習 (日本赤十字社スタッフ)
2	〃
3	〃
4	災害医療の概要・日本赤十字社の災害救護活動について (武田)
5	〃
6	災害時に活動する団体・DMAT と理学療法士の役割について (森下)
7	〃
8	〃

履修の認定

赤十字救急法基礎講習の出席と受講状況 40%
災害医療・災害時の活動に関するレポート 60%

注意事項

本講義は、開講回数が全8回と少ないので欠席しないこと。

教科書等

赤十字救急法基礎講習テキスト
講義用資料プリント

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必)作業療法概論	1	3	前期	15	作業療法学科本校講師

授業概要

理学療法と歴史的にも内容的にも最も近い職種のひとつである作業療法に関して、作業活動が人間にもたらす意味と治療的効果について学ぶ。同じリハビリテーションチームの職種として、作業療法士が担う役割について理解し、チームアプローチを効果的に行うことができる知識を身に付ける。作業療法の各領域における作業療法を学ぶ。

学習目標

1. 作業療法の原理についておおまかに説明できる。
2. リハビリテーションチームの作業療法士の主な役割を列挙できる。
3. 各領域における作業療法アプローチの概略を説明できる。

授業計画

回	主 題	
1	作業療法の歴史、作業療法の役割、作業活動の治療効果	(畑田早苗)
2	精神障害領域における作業療法	(")
3	身体障害領域における作業療法の視点	(片岡聡子)
4	高次脳機能障害における作業療法	(箭野 豊)
5	地域における作業療法	(桂 雅俊)
6	精神疾患における運動療法	(萩原賢二)
7	小児における作業療法	(稲富惇一)
8	定期試験	

履修の認定

筆記試験、レポート、出席状況、授業態度

参考書

1. 標準作業療法学 作業療法学概論 医学書院
2. ひとと作業・作業活動
3. 配布資料

專 門 分 野

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 理学療法研究法	1	3	前期	30	(医博) 竹林 秀晃<本校講師> 理学療法士 他

授業概要

理学療法の専門性、すなわち理学療法独自の治療法や援助法を開発・発展させるためには研究が不可欠である。よって、本校の卒業生には専門職としての志向性がある程度明確になった段階で、各自の勤務施設での懸命な業務に加え、研究活動にも取り組んでほしいと願っている。

そこで、この科目では将来の研究活動への動機として「理学療法セミナーⅠ（3年次）」と「卒業研究（4年次）」に連動させることを前提に、まず総論的に研究の方法論を概説する。そして、各論では学生が卒業研究時に活用することの多い測定機器の概要を説明し、測定演習を行う。

学習目標

1. 研究の方法論を知ることができる。
2. 代表的な測定機器の概要を理解でき、基本操作ができる。
3. 論文の検索や精読し、研究計画に反映できるようにする。

授業計画

回	主 題
1	研究法1（理学療法士と研究領域）
2	研究法2（リサーチクエッションについて）
3	研究法3（文献検索・論文の批判的精読）
4	研究法4（研究計画書・研究発表の方法と注意点）
5	研究法5（臨床研究の実際）
6	研究法6（実験基礎研究の実際）
7	測定演習1（筋力測定装置）
8	測定演習2（超音波画像診断装置）
9	測定演習3（呼吸代謝測定装置）
10	測定演習4（反応時間計測装置・筋力調節測定装置）
11	測定演習5（重心動揺解析装置）
12	測定演習6（三次元動作解析装置・床反力計）
13	測定演習7（筋電計）
14	測定演習8（加速度計）
15	課題および定期試験

履修の認定

レポート課題(90%)・講義中の課題(10%)

教科書

指定しない。毎回必要な資料を配付する。

参考書

1. 標準理学療法学 理学療法研究法 第3版 内山 靖 編 奈良 勲 監修 医学書院 2013
2. 計測法入門 計り方, 計る意味 内山 靖・他編 協同医書 2001
3. はじめての研究法 コ・メディカルの研究法入門 千住秀明・他監修 2004
4. すぐできる!リハビリテーション統計 山本澄子・他監修 南江堂 2012

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 臨床実習入門	1	3	後期	30	(保健学博士) 宅間 豊<本校講師> 理学療法士 (教育学修士) 井上佳和<本校講師> 理学療法士 筒井 典子・中村 覚<非常勤講師> 人・みらい研究所

授業概要

臨床総合実習を目前にする時期に臨床実習受講のために必要な事柄を教授する。また、臨床実習の意義や対象者から望まれる理学療法士像等について学生自身が深く考える機会を設ける。

学習目標

1. 臨床総合実習の意義、教育目標、方法論などを理解できる。
2. 臨床総合実習に向けての学習レディネスを主体的に考えることができる。
3. 臨床総合実習に必要な関連知識を獲得できる。
4. 理学療法士に必要なコミュニケーション力を身に付けることができる。

授業計画

回	主 題
1	理学療法士に必要な資質を考える (宅間)
2	クライアントとの信頼獲得を考える (宅間)
3	国際生活機能分類の振り返り (宅間)
4	問題指向型システム (POS) の記録形式 (宅間)
5	医療コミュニケーション① (援助的コミュニケーション) (筒井・中村)
6	医療コミュニケーション② (効果的な聴き方：主訴の確認) (筒井・中村)
7	医療コミュニケーション③ (相手を見る：非言語メッセージの重要性) (筒井・中村)
8	医療コミュニケーション④ (効果的な伝え方) (筒井・中村)
9	医療コミュニケーション⑤ (共感的応答) (筒井・中村)
10	医療コミュニケーション⑥ (問診ロールプレイング) (筒井・中村)
11	臨床総合実習の概要① (井上)
12	臨床総合実習の概要② (井上)
13	理学療法実技① (宅間)
14	理学療法実技② (宅間)
15	理学療法実技③ (宅間)

履修の認定

理学療法に関して筆記・口述・実技の試験を行う

教科書

1. 臨床総合実習の手引き
2. オリジナル資料の配布

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 理学療法セミナーⅡ (国家試験対策)	2	4	後期	60	理学療法学科本校講師

授業概要

この科目では国家試験対策を行う。

理学療法学科教員が、過去の試験問題の傾向を分析し、重要と考えられる事柄を事前に学生に提示する。学生はそれを基にして担当領域の資料を作成し、授業でその解説を行う。教員は学生が行う解説について必要に応じて助言を与える他、知識の定着を図る授業を行う。翌週に前週の授業のまとめと学習成果の確認のための小テストを行う。

学習目標

1. 過去の国家試験問題の傾向を知ることができる。
2. 国家試験に合格するために不可欠な知識を修得することができる。

授業計画

回	主 題
1週目	基礎医学1
2週目	基礎医学2
3週目	治療・訓練技術（物理療法学、義肢・装具学、運動療法基礎学）
4週目	臨床医学と疾患別運動療法1
5週目	臨床医学と疾患別運動療法2
6週目	臨床医学と疾患別運動療法3
7週目	その他（病理学、臨床心理学、精神医学、研究法）
8週目	単位認定試験

履修の認定

単位認定試験 100%

教科書・参考書

1. 国試の達人 運動解剖生理学編 アイベック
2. 国試の達人 臨床医学編 アイベック
3. 国試の達人 理学療法編 アイベック
4. クエスチョンバンク 国家試験問題解説 共通問題 メディックメディア
5. クエスチョンバンク 国家試験問題解説 専門問題 メディックメディア
6. 国家試験必勝ポイント理学療法 基礎PT学 医歯薬出版
7. 国家試験必勝ポイント理学療法 障害別PT治療学 医歯薬出版
8. 国家試験必勝ポイント専門基礎分野 基礎医学編 医歯薬出版
9. 国家試験必勝ポイント専門基礎分野 臨床医学編 医歯薬出版
10. 国家試験問題 解答と解説 医歯薬出版

以上の中から国家試験対策の手助けとなる書籍を購入する（開講前に教員が紹介する）。

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 卒業研究	2	4	後期	60	理学療法学科本校講師

授業概要

3年次の理学療法セミナーⅠと理学療法研究法に連動している。担当教員の指導下、理学療法セミナーⅠで作成した実験の計画に基づき、データ収集、実施と口述発表と論文作成のプロセスを経験する。

学習目標

1. 研究の流れを知ることができる。
2. 研究計画書に基づき研究を実施することができる。
3. 研究の成果を発表することができる。
4. 科学的思考過程や問題解決能力を身につけることができる。

授業計画

日 程	主 題
10月中旬	研究論文 提出
10月下旬	口述発表

履修の認定

口述発表（卒業研究発表会） 50%

研究論文執筆への取り組み（研究の準備とデータ収集の進め方、論文作成への取り組み） 50%

教科書

1. PT・OTのための臨床研究はじめての一步 山田 実・編著 羊土社 2016

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 理学療法部門管理論	1	3	後期	15	高芝 潤<非常勤講師>近森リハビリテーション病院 理学療法士 (医博)川村 博文<本校講師>理学療法士 近森 幹子<非常勤講師>近森病院 看護師

授業概要

医療は病院や施設の医療システムに則り提供されるものであり、理学療法士が行う医療行為もそのシステムに連動して提供される。個々の理学療法士には、臨床に関する知識や技術を自ら高める能力が必要とされているが、同時に知識や技術を患者に提供する際の管理、つまりマネジメント能力も求められる時代へと変化をしている。

本科目では、事故防止対策、医療や介護制度の知識をはじめ、適切で安全な医療提供体制の在り方について学び、組織の中で、社会のニーズにも応えられる、質のよい医療提供者として振る舞える姿勢を養う。

学習目標

1. 病院・施設・在宅の中で対象者に対する課題の把握とリスク管理やマネジメントが理解できる。
2. 事故防止対策（リスクマネジメント）、感染予防対策について理解できる。
3. 医療や保健・福祉を取り巻く制度について理解できる。

授業計画

回	主 題
1	理学療法管理学・マネジメントの概念1（高芝）
2	理学療法管理学・マネジメントの概念2（高芝）
3	理学療法業務のマネジメント・職場管理・組織運営1（高芝）
4	理学療法業務のマネジメント・職場管理・組織運営2（高芝）
5	診療・介護報酬制度の概要1（川村）
6	診療・介護報酬制度の概要2（川村）
7	院内感染対策1（近森）
8	院内感染対策2（近森）

履修の認定

レポート 90%

授業内活動 10%

注意事項

本講義は、開講回数が全8回と少ないので欠席しないこと。

教科書

講義用冊子、資料プリントを配布する。

参考書

1. 理学療法管理学 奈良勲・他（編） 医歯薬出版 2018
2. 理学療法管理学 15 レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 長野聖・他（編） 2020
3. リハベーシック 安全管理学・救急医療学 内山靖・他（編） 医歯薬出版 2021

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 理学療法教育論	1	3	後期	15	(医博) 宮本 謙三 〈本校講師〉 理学療法士 (医博) 奥田 教宏 〈本校講師〉 理学療法士 (医科学修士) 近藤 寛 〈本校講師〉 理学療法士

授業概要

理学療法士には、専門職として、自己研鑽を含めた生涯学習を継続して行う責務があり、卒前教育や卒後教育について理解する。理学療法士国家資格を取得するにあたり、本校では卒前教育を4年間にわたりみなさんに教授し、理学療法士免許を取得した後は、卒後教育がはじまりどのようなキャリアラダーで進んで行くか説明する。また、臨床現場で必要となってくる患者教育や組織運営に関するマネジメント能力を養うために、理学療法倫理や理学療法教育について講義し理解を深めていく。

より質の高い理学療法が提供できるよう、理学療法教育に必要な知識を培うとともに、職業倫理を高められるような講義を展開していく。

学習目標

1. 教育の本質と役割について理解することができる
2. 卒後教育を理解しキャリアラダーのイメージを持てるようになる
3. 患者教育のマネジメント能力や職業倫理を高めることができる

授業計画

回	主 題
1	理学療法教育の歴史
2	教育技法と教育評価
3	卒前・卒後教育
4	卒後キャリアラダー
5	患者教育とは
6	患者教育の考え方、コミュニケーションスキルの重要性
7	セルフモニタリングの作成
8	単位認定試験

履修の認定

出席状況と試験結果とを総合的に判定する。

教科書

1. 講義の際に適宜資料を配布する。

参考書

1. 講義の際に適宜資料を配布する。

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 物理療法学 I (温熱・光線療法)	1	3	前期	30	(教育学修士) 岡部 孝生<本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

授業概要

物理療法とは電気、温・寒熱、水、光線、力などの物理的エネルギーを生体に応用することによって、その機能の活性化と恒常性の維持・改善などを図る手法であり理学療法場面でも用いられる。物理療法学 I は、これらのうち温・寒冷、光線などを応用した物理療法を理解していく。

学習目標

1. 物理療法の概念を理解する。
2. 各手法の作用機序を理解する。
3. 理学療法における物理療法の位置付けを考える。

授業計画

回	主 題
1	物理療法総論
2	温熱療法総論
3	ホットパック療法、パラフィン療法
4	赤外線療法、極超短波療法
5	赤外線療法、極超短波療法
6	超短波、超音波療法
7	超短波、超音波療法
8	寒冷療法総論
9	一般寒冷療法
10	一般寒冷療法、極低温療法
11	光線療法総論
12	紫外線療法、レーザー光線療法
13	治療実習 1
14	治療実習 2
15	定期試験

履修の認定

定期試験 (90%)、受講態度 (10%)

教科書

1. PT・OT ビジュアルテキスト エビデンスから身につける物理療法 第 2 版 庄本康治 羊土社 2023

参考書

1. 物理療法学テキスト 改訂第 3 版 (シンプル理学療法学シリーズ) 細田多穂 南江堂 2021
2. 物理療法学 改訂第 3 版 松沢正, 江口勝彦 (監修) 金原出版 2021
3. 標準理学療法学 専門分野 物理療法学 第 5 版 奈良勲 (監修) 医学書院 2020
4. 最新物理療法の臨床適応 庄本康治 (編) 文光堂 2012
5. ビジュアルレクチャー理学療法基礎治療学 (2) 物理療法 中山孝, 菅原仁 (編) 医歯薬出版 2012
6. 理学療法ハンドブック 改訂第 4 版 第 2 巻 治療アプローチ 細田多穂ほか 協同医書出版 2010
7. EBM 物理療法 原著第 3 版 渡部一郎 (訳) 医歯薬出版 2010
8. 理学療法士のための物理療法臨床判断ガイドブック 木村貞治 (編) 文光堂 2007
9. 理学療法学ゴールド・マスター・テキスト (3) 物理療法学 柳澤健 メジカルビュー社 2009
10. 物理療法マニュアル 嶋田智明ほか 医歯薬出版 1996

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 物理療法学Ⅱ (電気療法)	1	3	後期	30	(教育学修士) 岡部 孝生<本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

授業概要

物理療法とは電気、温・寒熱、水、光線、力などの物理的エネルギーを生体に応用することによって、その機能の活性化と恒常性の維持・改善などを図る手法であり理学療法場面でも用いられる。物理療法学Ⅱは物理療法学Ⅰに続くもので、これらのうち電気、水、力を応用した物理療法を理解していく。

学習目標

1. 物理療法の概念を理解する。
2. 各手法の作用機序を理解する。
3. 理学療法における物理療法の位置付けを考える。

授業計画

回	主 題
1	牽引療法総論
2	牽引療法 (頸椎牽引、腰椎牽引)
3	治療実習
4	水治療法総論、全身浴
5	水治療法 (部分浴、交代浴)
6	治療実習
7	電気刺激療法総論 1
8	電気刺激療法総論 2
9	電気刺激療法 (低周波)
10	電気療法 (低周波、中周波)
11	治療実習 1
12	治療実習 2
13	物理療法学Ⅰ復習
14	物理療法学Ⅱ復習
15	定期試験

履修の認定

定期試験 (90%)、受講態度 (10%)

教科書

1. PT・OT ビジュアルテキスト エビデンスから身につける物理療法 庄本康治 羊土社 2017

参考書

1. 物理療法学テキスト 改訂第3版 (シンプル理学療法学シリーズ) 細田多穂 南江堂 2021
2. 物理療法学 改訂第3版 松沢正, 江口勝彦 (監修) 金原出版 2021
3. 標準理学療法学 専門分野 物理療法学 第5版 奈良勲 (監修) 医学書院 2020
4. 最新物理療法の臨床適応 庄本康治 (編) 文光堂 2012
5. ビジュアルレクチャー理学療法基礎治療学 (2) 物理療法 中山孝, 菅原仁 (編) 医歯薬出版 2012
6. 理学療法ハンドブック 改訂第4版 第2巻 治療アプローチ 細田多穂ほか 協同医書出版 2010
7. EBM 物理療法 原著第3版 渡部一郎 (訳) 医歯薬出版 2010
8. 理学療法士のための物理療法臨床判断ガイドブック 木村貞治 (編) 文光堂 2007
9. 理学療法学ゴールド・マスター・テキスト (3) 物理療法学 柳澤健 メジカルビュー社 2009
10. 物理療法マニュアル 嶋田智明ほか 医歯薬出版 1996

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 義肢学	1	3	前期	30	(医博) 鶴見 隆正<非常勤講師> 湘南医療大学教授 理学療法士

授業概要

四肢切断のリハビリテーションに必要な知識と技術を学習する。切断原因、切断手技を理解し、急性期からの理学療法、義肢装着訓練について学び、義手、義足の種類、ソケットの特徴、ソケットの適応判定、さらに切断端の評価から断端訓練、アライメント調整、歩行訓練、応用動作訓練等については実習を取り入れながら学習する。

また、義肢処方から義肢完成までの過程、義肢給付制度について理解し、切断者の社会復帰までにおける理学療法士の役割と位置づけについて教授する。

学習目標

1. 切断者のリハビリテーションにおける理学療法の位置づけを理解できる。
2. 義肢の種類、適応判定、アライメント調整ができる。
3. 切断の評価、断端訓練、歩行訓練等の基本的な理学療法を実施できる。

授業計画

回	主 題
1	切断のオリエンテーション
2	切断と義肢の歴史・実態
3	切断原因
4	切断術と断端管理
5	大腿義足ソケット
6	大腿義足のアライメント
7	大腿義足の異常歩行
8	膝継手・足継手
9	大腿義足の演習
10	下腿切断と下腿義足
11	膝関節離断・サイム切断と股離断
12	両側下肢切断
13	下肢切断者の理学療法評価
14	演習：下肢切断者の理学療法過程
15	筆記試験と実技試験

履修の認定 試験結果、出席状況、受講態度を総合的に評価

注意事項 義肢に触れながら主体的に講義に取り組むこと。

教科書 1. 切断と義肢 医葉薬出版
2. 標準理学療法学 臨床実習とケーススタディ 医学書院

参考書 1. 義肢装具 理学療法MOOK 三輪書店

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 義肢装具学演習	1	3	後期	15	小谷 和男<非常勤講師> 義肢装具士・福祉用具専門相談員 (株)小谷義肢

授業概要

- 1) 義肢、装具に関する基本的知識を学ぶとともに、種類と構造、チェックアウト、最新の義肢装具および試装着によりアライメントを理解する。
- 2) ギプス採型

学習目標

1. 装具（上肢、下肢、体幹、靴型）、義足の名称と構造、適応について説明できる。
2. 体験模擬装具、義足、義手によりアライメントの理論と実際を習得する。
3. 体験模擬装具、義足、義手により装着除去訓練を習得する。
4. ギプス包帯による陰性モデル採型を修得する。

授業計画

回	主 題
1	装具学概論 最近のトピックス
2	〃 下肢のアライメント、試歩行
3	〃 短下肢装具の陰性モデル採型
4	〃 短下肢装具の陰性モデル採型
5	義肢学概論 最近のトピックス
6	〃 下肢のアライメント、試歩行
7	〃 大腿義足のソケットリング採型
8	〃 大腿義足のソケットリング採型

履修の認定

実技テスト 50%、レポート 30%、出席状況 10%、授業態度 10%

教科書

配布テキスト

参考書

・義肢学 ・装具学 ・切断と義肢 ・義肢装具のチェックポイント

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 神経障害理学療法学Ⅲ (脊髄損傷)	1	3	前期	30	(学術修士) 宮本 祥子<本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

授業概要

中枢性運動麻痺をきたす代表的な傷病である脊髄損傷の病態、評価、理学療法を理解することを目的とする。本科目では、外傷性脊髄損傷による完全横断損傷を中心に授業を展開する。

なお、授業の進行速度は学生の理解度に応じて調整するため、補講を行うことがある。

学習目標

1. 脊髄の解剖を理解する。
2. 脊髄損傷の障害発生機構、症状を述べることができる。
3. 脊髄損傷の合併症の病態と医学的管理を理解し、理学療法場面での管理法を述べることができる。
4. 脊髄損傷の理学療法評価、治療訓練を考えることができる。

授業計画

回	主 題
1	脊椎、脊髄の解剖
2	脊髄損傷の原因・診断と予後判定
3	脊髄不全損傷の特殊型、完全損傷の症状の概説
4	運動機能障害(1)
5	運動機能障害(2)
6	感覚機能障害
7	1～7回のまとめ(試験)
8	自律神経障害
9	正常の排尿機構
10	脊髄損傷の排尿機構、排尿管理(1)
11	脊髄損傷の排尿機構、排尿管理(2)
12	急性期から回復初期の理学療法
13	回復中期から後期における理学療法
14	理学療法評価、合併症(褥瘡、異所性骨化など)
15	試験

履修の認定

筆記試験(中間・期末)筆記試験90%、授業内活動(課題の提出など)10%

教科書

1. PT マニュアル 脊髄損傷の理学療法 第3版 武田功編集 医歯薬出版 2017

参考書

1. 脊髄損傷リハビリテーションマニュアル 第3版 神奈川リハビリテーション病院脊髄損傷リハビリテーションマニュアル編集委員会 医学書院 2019
2. 脊髄損傷理学療法マニュアル 第3版 岩崎洋編集 文光堂 2020
3. 頸髄損傷のリハビリテーション 改訂第3版 二瓶隆一・木村哲彦 他 協同医書 2016

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 発達障害理学療法学	1	3	後期	30	(学術修士) 宮本 祥子<本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

授業概要

最初に乳児の正常運動発達から、成熟した個体の行動様式の獲得のされ方を理解する。その後正常運動発達を基盤とし、脳性麻痺の運動障害・理学療法を学ぶ。そして授業終盤には、理学療法で治療対象となることが多い、脳性麻痺以外の小児疾患についても学ぶこととする。

また、授業全般にわたって小児理学療法の特殊性と療育の理念を理解する。

学習目標

1. 正常乳児の運動発達の流れを述べることができる。
2. 脳性麻痺の類型別に問題点と治療原則を述べるができる。
3. 脳性麻痺を中心とした肢体不自由児のリハビリテーションの流れを述べるができる。

授業計画

回	主 題
1	小児の成長
2	乳児の運動発達 0～3ヶ月
3	乳児の運動発達 3～6ヶ月
4	乳児の運動発達 6～9ヶ月
5	乳児の運動発達 9～12ヶ月
6	幼児の発達
7	反射・反応検査
8	脳性麻痺の定義、症状、病型分類
9	痙直型の子供の問題点と治療
10	アトニー型の子供の問題点と治療
11	脳性麻痺の子供の日常生活での指導のしかた(1)
12	脳性麻痺の子供の日常生活での指導のしかた(2) 合併障害、理学療法評価
13	小児神経筋疾患の理学療法
14	二分脊椎症、ダウン症候群の理学療法、発達障害とDCD
15	試験

履修の認定

筆記試験 90%、出席状況と授業内活動(課題の提出など)10%

教科書

1. シンプル理学療法シリーズ 小児理学療法学テキスト 改訂第3版 細田多穂監修 南江堂 2018
2. 乳児の発達—写真でみる0歳児 高橋孝文監訳 医歯薬出版 1997

参考書

1. 脳性まひ児の家庭療育 第4版 Eva Bower 医歯薬出版 2014
2. 正常発達 脳性まひ治療への応用 Jung Sun Hong 三輪書店 2010
3. 発達性協調運動障害[DCD]: 不器用さのある子どもの理解と支援 辻井正次・他監修 金子書房 2019

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 運動器障害理学療法Ⅲ (体幹)	1	3	前期	30	(医博) 奥田 教宏 <本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

授業概要

運動器障害理学療法Ⅱに引き続き、理学療法の対象となる代表的な整形外科疾患に対する理学療法を学習する。講義は、教科書・講義プリントを中心にできるだけ動画を利用しながら進めていく。

ここでは、腰痛症（腰椎椎間板ヘルニアなど）、頸椎疾患（頸椎捻挫など）、関節リウマチを取り上げ、これらの疾患に対する理学療法評価やプログラムを実技も含めて理解を深める。

学習目標

1. 運動器障害理学療法に必要な整形外科疾患の概要を理解する。
2. 整形外科疾患の病態と整形外科治療の内容を把握する。
3. 整形外科疾患に対する理学療法評価とプログラム立案・実技を理解する。

授業計画

回	主 題
1	腰痛症の病態
2	腰痛症の原因となる主な疾患
3	腰痛症の理学療法評価
4	腰痛症の理学療法治療
5	腰痛症に対する実技
6	頸椎疾患（頸椎捻挫）の病態・整形外科
7	頸椎疾患（頸肩腕症候群）の病態・整形外科
8	頸椎疾患（胸郭出口症候群）の病態・整形外科
9	頸椎疾患の理学療法評価
10	頸椎疾患の理学療法治療
11	頸椎疾患に対する実技
12	関節リウマチの病態・診断・治療
13	関節リウマチの理学療法評価
14	関節リウマチの理学療法治療
15	単位認定試験

履修の認定

筆記試験の成績

教科書

1. 整形外科リハビリテーション 神野哲也監修 羊土社
2. 運動療法に役立つ 単純 X 線像の読み方 青木隆明監修 MEDICAL VIEW

参考書

1. ここがポイント！整形外科疾患の理学療法 富士武史監修
2. 結果の出せる整形外科理学療法 運動連鎖から全身をみる 山口光圀・他著 MEDICAL VIEW
3. 術後理学療法プログラム 島田洋一・他編 MEDICAL VIEW
4. 標準理学療法学 骨関節理学療法学 吉尾雅治・他 医学書院

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) スポーツ理学療法学	1	3	後期	30	(医博) 森本 哲郎<非常勤講師> もりもと整形外科内科 山田 義久<非常勤講師> もりもと整形外科内科 理学療法士 (医博) 竹林 秀晃<本校講師> 理学療法士 (工学博士) 榎 勇人<本校講師> 理学療法士 他

授業概要

整形外科や運動器障害理学療法を背景に、スポーツ理学療法の対象となる代表的な整形外科疾患に対する理学療法を学習する。講義は、教科書・講義プリントを中心に動画・スライド・実技等を利用して進めていく。

スポーツ傷害の理学療法に対する理学療法評価やプログラムだけでなく、パフォーマンス向上のためのバイオメカニクスや運動制御・運動学習理論なども含めて理解を深める。

学習目標

1. スポーツ理学療法に必要な整形外科疾患の概要を理解する。
2. スポーツ傷害の病態と整形外科治療の内容を把握する。
3. スポーツ傷害に対する理学療法評価とプログラム立案・実技を理解する。
4. スポーツパフォーマンス向上のための理論を理解する。

授業計画

回	主 題
1	スポーツ整形外科・理学療法の総論
2	スポーツ理学療法の実際
3	スポーツ傷害に対するアプローチ (テーピングなど)
4	スポーツ傷害に対するアプローチ
5	スポーツ傷害Ⅰ (膝靭帯損傷)
6	スポーツ傷害Ⅱ (半月板損傷)
7	スポーツ傷害Ⅲ (足関節捻挫・アキレス腱断裂)
8	スポーツ傷害Ⅳ (上肢の傷害 その他の傷害)
9	スポーツ傷害の理学療法に関する実技
10	スポーツ傷害のケースステディ
11	スポーツパフォーマンス向上の運動理論
12	スポーツバイオメカニクス
13	スポーツ栄養学
14	まとめ
15	筆記試験

履修の認定

筆記試験(90%) ・ 講義中の課題(10%)

注意事項

実技実習を行う場合があるので、実習が可能な服装を用意しておくこと。

教科書

1. 整形外科リハビリテーション 神野哲也監修 羊土社 2012
2. 標準整形外科学 第15版 広畑和志監修 医学書院 2023

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 内部障害理学療法学Ⅰ (呼吸)	1	3	前期	30	(保健学博士) 宅間 豊<本校講師> 理学療法士 ○実務経験による授業科目

授業概要

呼吸系・循環系・筋代謝系の調和システムを基盤に慢性呼吸器疾患の障害構造を解説する。そして、その上で適用する評価法と理学療法を理解し、指向性をもった検査測定や治療および援助が行えるように専門的知識と技術を修得する。

学習目標

1. 病態の理解に必要な医学的基礎知識を獲得できる。
2. 障害構造を理解できるとともに評価の意義と方法を説明できる。
3. 呼吸器疾患に対する理学療法の目的と方法を説明できる。

授業計画

回	主 題
1	呼吸器系の構造と機能 1
2	呼吸器系の構造と機能 2
3	呼吸器系の構造と機能 3
4	中間試験
5	慢性呼吸器疾患の障害構造
6	呼吸理学療法のための評価 1
7	呼吸理学療法のための評価 2
8	呼吸理学療法のための評価 3
9	呼吸理学療法のための評価 4
10	呼吸理学療法 (基本手技 1)
11	呼吸理学療法 (基本手技 2)
12	呼吸理学療法 (基本手技 3)
13	呼吸理学療法 (基本手技 4)
14	呼吸理学療法 (基本手技 5)
15	定期試験

履修の認定

中間および定期試験成績により認定する。

教科書

1. 動画で分かる呼吸リハビリテーション 高橋仁美・他 (編) 中山書店
2. 配付プリント

参考書

1. リハ実践テクニック呼吸ケア 塩谷隆信・高橋仁美 (編) メジカルビュー社
2. 理学療法テキスト内部障害理学療法学 呼吸 石川朗・玉木彰 (編) 中山書店

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 内部障害理学療法学Ⅱ (循環)	1	3	前期	30	(医博) 大重 匡〈非常勤講師〉 鹿児島大学医学部 教授 理学療法士・臨床工学技士 前田 秀博先生 近森病院 理学療法士 (医科学修士) 近藤 寛〈本校講師〉 理学療法士

授業概要

高齢化が進んでいる現在、理学療法の対象者も高齢者が増加している。高齢者の多くは不整脈を合併し、また既往歴に心筋梗塞や狭心症、末梢循環障害などを有する場合がある。理学療法士が運動療法を施行する際、運動療法施行時に出現する不整脈や症状を判読することはリスク管理の上で非常に重要である。本講義は、心電図の基本から正常 12 誘導心電図の波形の成り立ち、そして臨床場面で理解しておくべき不整脈の波形について教授したのち、急性期と回復期の心筋梗塞の理学療法について教授する。また、臨床における心疾患患者の対する最新のリハビリテーションの内容や末梢循環障害の基礎や評価・治療について説明する。

学習目標

1. 基本的な内科疾患の病態を理解できる。
2. 内部障害に対する評価・理学療法について理解できる。

授業計画

回	主 題
1	心臓の解剖と生理
2	刺激伝導系について
3	正常心電図 (心電図の波形と名称)
4	正常心電図 (肢誘導と胸部誘導)
5	不整脈の心電図 (頻脈・徐脈・期外収縮)
6	不整脈の心電図 (房室ブロック・心室内伝導障害・心房細動など)
7	心筋梗塞の理学療法 (心筋梗塞の病態)
8	心筋梗塞の理学療法 (理学療法の実際)
9	運動負荷試験について
10	心筋梗塞の理学療法 (回復期の理学療法)
11	心不全のリハビリテーション (臨床の前線) ①
12	心不全のリハビリテーション (臨床の前線) ②
13	末梢循環障害の基礎
14	末梢循環障害の評価・治療
15	定期試験

履修の認定

出席状況と試験結果とを総合的に判定する。

教科書

1. 内部障害理学療法学テキスト 細田 多穂 監修 南江堂

参考書

1. 講義の際に適宜資料を配布する。

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 内部障害理学療法学Ⅲ (代謝・腎・がん)	1	3	後期	30	(医科学修士) 近藤 寛<本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

授業概要

内部障害とは、心臓、呼吸、腎尿路、消化など内部機能障害の総称と定義されている。そのうち、内部障害理学療法学Ⅲでは、代謝、腎臓、糖尿病、がんに関する概論や理学療法について講義する。これらの疾患についての評価・治療の選択に当たっては、病態理解が必要不可欠となり、その部分も含めて内容を展開する。

学習目標

1. 基本的な内科疾患の病態を理解できる。
2. 内部障害に対する評価・理学療法について理解できる。

授業計画

回	主 題
1	糖尿病とは・糖尿病の診断と分類
2	糖尿病の検査と合併症
3	糖尿病の治療
4	糖尿病に対する理学療法（評価）
5	糖尿病に対する理学療法（治療）
6	運動と代謝①
7	運動と代謝②
8	腎機能障害の理解（腎臓の機能や役割・診断・分類）
9	腎機能障害の理解（疾患）
10	腎機能障害の理学療法（評価・治療）
11	がんとは・がんの診断と分類
12	がんのリハビリテーション（疾患）
13	がんのリハビリテーション（評価・治療）
14	まとめ
15	定期試験

履修の認定

出席状況と試験結果とを総合的に判定する。

教科書

1. 内部障害理学療法学テキスト 細田 多穂 監修 南江堂

参考書

1. 講義の際に適宜資料を配布する。

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 医療機器概論	1	3	後期	15	細田 里南<非常勤講師> 田中 健太郎<非常勤講師> (教育学修士) 岡部 孝生<本校講師> 理学療法士

授業概要

医療機器とは、病気や怪我を診断したり、治療や予防したりするときに使われる機器の総称です。医療行為を行う場合、必ずと言っていいほど使用されるものです。病気や怪我の種類や状態によって使用する医療機器は異なります。そのため医療機器には、かなり多くの種類が存在します。本講義では、まずその種類の多さについて学んでいただきます。その上で、理学療法士がかかわる事が多い代表的な医療機器について、その種類と基本的な仕組み、目的について学んでいただきます。さらに、理学療法士として各種医療機器の知識や使用方法を学ぶ必要性について学んでいただきます。

授業概要

医療機器とは、病気や怪我を診断したり、治療や予防したりするときに使われる機器の総称です。医療行為を行う場合には、ほぼ必ず使用されます。病気や怪我の種類や状態により使用される医療機器が異なるため、医療機器には非常に多くの種類が存在します。本講義では、まずその種類について学んでいただきます。その上で、理学療法士がかかわる事が多い代表的な医療機器について、その種類と基本的な仕組み、目的について学んでいただきます。さらに、理学療法士として各種医療機器の知識や使用方法を学ぶ必要性について学んでいただきます。

学習目標

1. 医療機器の種類が理解できる。
2. 各々の機器の基本的な仕組みや目的が理解できる。
3. 理学療法士として医療機器を学ぶ必要性が理解できる。

授業計画

回	主 題
1	医療機器概論
2	新生児集中治療に関与する医療機器について
3	呼吸器疾患に関与する医療機器について①
4	呼吸器疾患に関与する医療機器について②
5	循環器疾患に関与する医療機器について①
6	循環器疾患に関与する医療機器について②
7	運動器疾患に関与する医療機器について①
8	運動器疾患に関与する医療機器について②

履修の認定

提出物 (70%)、受講態度 (30%)

教科書

配布資料

参考書

適宜紹介します。

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 理学療法技術論 (熱傷・褥瘡含む)	1	3	前期	30	宮本 省三<非常勤講師> 高知医療学院 理学療法士 (医科学修士) 近藤 寛 <本校講師>理学療法士 他 ○実務経験者による授業科目

授業概要

この科目では外部より招聘した講師と本校の講師が、運動療法を中心とする理学療法の理論や技術の教授、また理学療法関連領域の知識・技術についての教授をおこなう。

学習目標

授業計画に示すテーマについての理論と技術を修得することができる。

授業計画

回	主 題
1	最近の運動療法の動向(1)～(2) 宮本省三
2	〃
3	最近の運動療法の動向(3)～(4) 園田義顕
4	〃
5	関節可動障害の評価と理学療法アプローチ 大畑剛
6	〃
7	〃
8	〃
9	ノーリフトケア・ノーリフティングケアの理論と実際 加賀野井博美
10	〃
11	PNFの理論と実際 上田康裕
12	〃
13	熱傷の評価と理学療法アプローチ 近藤 寛
14	〃
15	まとめ

履修の認定

課題レポート2題 100%

注意事項

同一日に数回分の授業をまとめて開講するので欠席には注意すること。
各テーマにより、準備するものが異なるため掲示に従うこと。

教科書

配布資料

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 理学療法特論 I (臨床思考)	1	3	前期	15	(医博) 川村 博文<本校講師> 理学療法士

授業概要

理学療法特論 I (臨床思考) では、日本および世界の理学療法 (士) の変遷を教授し、理論と実際の検証を行うことで、理学療法の理論と基本手技の概略を解説する。特には ICF での問題点の捉え方の骨組みである活動と心身機能・身体構造および参加の意義と重要性について理解を深める。

さらに、評価の意義、評価の統合と解釈の意味、抽出された問題点の価値、予後推定に基づく目標 (短期・長期) の明確な設定、問題点对応型の理学療法などの留意点は、各種疾患を通して教授し、臨床推論能力を高め、臨床現場で活躍できる力の構築に繋げていくこととする。

学習目標

1. 理学療法の変遷 (課題と展望) を学び、各理学療法の理論と実際を検証し、理解できる。
2. 各疾患での ICF に基づく評価、評価の統合と解釈、問題の抽出、目標、治療を設定できる。

授業計画

回	主 題
1	オリエンテーション、日本および世界の理学療法変遷と理学療法の検証
2	理学療法の検証
3	理学療法を实践する上での ICF の理解
4	各疾患の評価・評価の統合と解釈・問題の抽出・目標・治療設定
5	疼痛と疼痛に対する理学療法の実際
6	関節可動域制限 (拘縮・強直) に対する理学療法の実際
7	筋力弱化に対する理学療法の実際
8	定期試験

履修の認定

出席状況と試験結果とを総合的に判定する。

教科書

1. 臨床実習とケーススタディ、鶴見隆正・辻下守弘編集、医学書院

参考書

1. 理学療法のルーツ その継承と新たな創造のために、武富由雄著、メディカルプレス
2. 講義の際に適宜資料を配布する。

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 理学療法特論Ⅱ (症例検討)	1	3	後期	15	(医博) 奥田 教宏 <本校講師> 理学療法士

授業概要

本科目では、これまで1年次～3年次までの講義で学習してきた内容に対し模擬症例を通して、より実践的に必要なスキル向上を目的とした講義を行う。模擬症例を提示し個人およびグループワークで問題点を考え、さらに治療プログラムを検討し議論していきたい。対象者の入院状況や生活場所、ニーズ、社会背景や利用可能な社会資源の把握など、対象者を一生活者としてとらえる視点を学び、ディスカッションを通してよりよい方策を導き出せるよう講義を行う。

学習目標

1. 模擬症例を通して、問題点・治療を立案できるようになる。
2. 入院時リハと在宅時リハの考え方の違いについて整理する。

授業計画

回	主 題
1	症例検討 (大腿骨頸部骨折症例 ～評価項目の検討～)
2	症例検討 (大腿骨頸部骨折症例 ～問題点と治療目標の検討～)
3	症例検討 (大腿骨頸部骨折症例 ～プログラムの検討～)
4	症例検討 (脳卒中症例① ～評価項目の検討～)
5	症例検討 (脳卒中症例① ～問題点と治療目標の検討～)
6	症例検討 (脳卒中症例① ～プログラムの検討～)
7	症例検討 (脳卒中症例②在宅 ～評価項目・問題点の検討～)
8	症例検討 (脳卒中症例②在宅 ～治療目標とプログラム～)

履修の認定

課題提出内容により成績をつける。

教科書

配布プリント

参考書

1. ケースで学ぶ理学療法臨床思考 基本編 有馬慶美・他 文光堂
2. 臨床実習とケーススタディ 鶴見隆正・他 医学書院
3. PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編 才藤栄一・他 金原出版
4. PT・OTのための臨床技能とOSCE 機能障害・能力低下への介入編 才藤栄一・他 金原出版

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 理学療法特論Ⅲ (理学療法トピックス)	1	4	後期	30	理学療法学科本校講師 他

授業概要

臨床総合実習で培った専門的能力を基に、種々の分野における理学療法の実際や関連する医療・保健・福祉についての学術的見聞を広め、理学療法を様々な視点から考える。学外より講師を招いて開講する。

学習目標

将来の理学療法士として必要な事柄について見聞を広めることができるとともに、専門職としての立脚点を考察することができる。

履修の認定

課題レポート2題 100%

教科書

配布資料

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 地域リハビリテーション学	1	3	前期	30	(医博) 滝本幸治<非常勤講師> 奈良学園大学講師 理学療法士 (教育学修士)井上佳和<本校講師> 理学療法士 ○実務経験者による授業科目

授業概要

昨今、理学療法士の職域は拡大し、医療分野のみならず保健・福祉領域における貢献が求められている。加えて、理学療法士の活躍の場は医療施設に留まらず、高齢者施設や在宅で生活する高齢者や身体に障害を有している者、肢体不自由児など対象や貢献の場は拡がりをみせている。そのため、理学療法士として地域リハビリテーションの概年とその活動について理解することは大変重要である。

本講義では、前半に本邦の高齢社会における現状・課題等を把握するとともに、地域リハビリテーションに関する制度・役割・手法等について理解することを目的に講義を展開する。また後半では、在宅での生活支援時に欠かすことのできない生活環境の調整についての基本的知識について理解することを目標に講義を展開する。

学習目標

1. 地域リハビリテーションの定義を理解する。
2. 地域および対象者のアセスメント手法について理解する。
3. 地域リハビリテーションに関する諸制度を理解する。
4. 地域リハビリテーション活動の手法と展開を知る。
5. 生活環境調整の基本的知識について理解する。

授業計画

回	主 題
1	地域リハビリテーション概論 (定義と現状)
2	疾病モデルと地域リハビリテーションの位置づけ
3	老化と廃用
4	地域および対象者のアセスメント①
5	地域および対象者のアセスメント②
6	高齢者に対する予防的介入手法
7	地域リハビリテーション活動支援事業
8	地域リハビリテーション活動の課題と展望
9	高齢者・障害者と福祉住環境整備
10	本邦の福祉住環境について・関係諸制度
11	福祉住環境整備の基本技術
12	高齢者・障害者の身体機能特性
13	生活行為別福祉住環境整備の方法
14	福祉住環境整備の実践
15	福祉用具
16	定期試験

履修の認定

筆記試験、レポート課題、出席状況

教科書

1. 東京商工会議所 (編) : 福祉住環境コーディネーター検定試験 2級公式テキスト 改訂 7版, 東京商工会議所
講義用冊子、資料を配布する。

参考書

1. 重森健太・横井賀津志 (編) : 地域リハビリテーション学第2版, 羊土社: 2019年
2. 細田多穂 (監) : 地域リハビリテーション学テキスト改訂第3版, 南江堂: 2018年
3. 河野 真 (編) : 地域包括リハビリテーション実践マニュアル, 羊土社: 2018年

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 地域リハビリテーション演習	1	3	前期	15	(医科学修士) 近藤 寛<本校講師> 理学療法士

授業概要

同時期の開講科目である地域リハビリテーション学で学習する内容を基に、地域における保健・医療・福祉サービスの理解を深める。そこで、地域の施設などに出向いて地域課題や対策についてインタビューを行い、実際に理学療法士のどのような専門的知識・技術が活用できるのかを考え、実践できるようにする。演習では、見学やサービス活動への参加を通して参加者と交流を深め、どのようなニーズの下でサービスが展開されているのかを知ること、どのような課題があるのかをとらえることが重要である。

学習目標

1. 身近にある地域リハビリテーション活動を知る。
2. 参加者と適切に交流することができる。
3. インタビューや演習を通して地域リハビリテーション活動の実際を知る。
4. 高齢者のリスク管理、評価方法を知り実践できる。
5. 地域リハビリテーション活動における理学療法士の役割と課題を知る。

授業計画

回	主 題
1	地域におけるリハビリテーションのニーズと課題
2	高齢者の包括的能力評価方法
3	地域リハに関わるテーマごとの発表資料作成
4	地域リハに関わる各テーマについて発表 ①
5	地域リハに関わる各テーマについて発表 ②
6	地域老人会交流会にむけて ①
7	地域老人会交流会にむけて ②
8	地域老人会交流会 ①
9	地域老人会交流会 ②
10	地域老人会交流会 ③
11	まとめ

*地域老人会交流会は3グループに分かれて、各グループで1回体験する

履修の認定

出席状況、演習実施状況、レポート提出、課題発表

留意事項

本講義は、視聴覚教材を用いた討議を行うとともに、近隣事業所等にて学外演習を行う。
挨拶や服装など接遇に関して特に留意すること。

教科書

必要に応じて資料を配布する。

参考書

1. 重森健太（編）：地域リハビリテーション学 第2版，羊土社：2019
2. 大田仁史（編）：地域リハビリテーション原論 Ver. 7，医歯薬出版：2020
3. 牧迫飛雄馬，吉松竜貴（編）：地域理学療法学（最新理学療法学講座），医歯薬出版：2021

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 地域理学療法学	1	3	後期	30	吉良健司<本校非常勤講師> 訪問看護ドリームチーム 理学療法士 他

授業概要

地域リハビリテーション活動において理学療法士が担う職責や期待は大きいですが、期待に応えるためには実践能力が求められる。地域理学療法学では、地域リハビリテーション活動において理学療法士が実際にどのように活動を展開するのかについて、活動場面別に解説する。

また、2025年の地域包括ケアシステムの構築に向けた理学療法士の貢献が期待されていることから、今後のトレンドを読みながら講義を展開する。同時に、地域課題を把握しそれに応えるために必要な知識や視点が得られるよう講義を進める。

学習目標

1. 地域理学療法について理解を深め、説明することができる。
2. 地域理学療法の展開場面を知る。
3. 地域理学療法の実施方法を知る。
4. 地域理学療法に必要な視点と専門機関・職種を知る。

授業計画

回	主 題
1	地域理学療法概論
2	医療保険・介護保険制度における理学療法とその役割
3	高齢者評価の視点
4	地域包括ケアシステムと地域理学療法 1 (地域包括ケアについて)
5	地域包括ケアシステムと地域理学療法 2 (総合事業の展開)
6	訪問リハビリテーション
7	通所リハビリテーション
8	多種職連携 訪問看護
9	放課後等デイサービス
10	就労支援事業
11	産業理学療法
12	予防理学療法 (ウィメンズヘルス・メンズヘルス)
13	行政における理学療法
14	当事者における地域生活の実態
15	定期試験

履修の認定

筆記試験、出席状況

教科書

講義用冊子、資料プリントを配布する。

参考書

1. 重森健太 (編) : 地域理学療法学第1版, 羊土社 : 2015
2. 浅川育世 (編) : 地域理学療法学第2版, 医歯薬出版 : 2015
3. 細田多穂 (監) : 生活環境学テキスト, 南江堂 : 2016
4. 鶴見隆正, 他 : 現場から学ぶ自立支援のための住宅改修, 医学書院 : 2007

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 見学実習Ⅱ	1	4	後期	45	理学療法学科本校講師

授業概要

4年次に訪問リハビリテーション・通所リハビリテーション施設にて1週間の実習を行う。地域理学療法場面での経験を通して、地域包括ケアシステムにおける理学療法士の専門性と役割および責務を理解する。また、地域包括ケアシステムに関与する関連専門職種の役割も理解する。加えて、介護保険制度などについても理解を深めることが目標である。

学習目標

1. 対象者（および家族）の生活特性やニーズを理解し、適切なコミュニケーションがとれる。
2. 各事業所で提供しているサービス内容の特徴が理解できる。
3. 理学療法士および他職種の業務内容と役割が理解できる。
4. 地域における他職種との連携が理解できる。
5. 関係する保険制度（医療保険制度、介護保険制度など）について調べ示すことができる。

授業計画

実 習 期 間
臨床総合実習Ⅱの終了後、計1週間の見学実習を実施 実習終了後に実習内容の報告と検討を行うグループ討論会を実施

履修の認定

施設実習の取り組み 50%、臨床実習ポートフォリオ 30%、見学後グループ討論会 20%

教科書等

臨床見学実習の手引き

臨床実習教育の手引き 第6版 日本理学療法士協会 2020

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 臨床総合実習 I	7	3	後期	315	理学療法学科本校講師

授業概要

治療技術習得のための臨床実習の3年次開講分である。医療機関もしくは福祉施設における7週間の実習を1回行う。学内外で修得した知識と技術を、実習の対象者に応用し、将来理学療法士として対象者に接する際に必要な基本的知識・技術・態度を身につける。

学習目標

1. 基本的な理学療法評価の実践から統合と解釈、問題点の抽出をおこなうことができる。
2. 基本的な理学療法治療手技・指導を体験し実践することができる。
3. 臨床総合実習Ⅱに向け理学療法プロセスの展開について経験を積み実践することができる。
4. 専門職として適切な態度と習慣を身につけることができる。

授業計画

実 習 期 間
令和8年1月12日(月)～2月28日(土) 臨床総合実習 I
令和8年3月2日(月)～3月13日(金) - 成果報告会 等

履修の認定

- 臨床実習指導者の評価 60%
- 臨床実習ポートフォリオ 10%
- 成果報告会 15%
- 成果報告会資料 15%

教科書

臨床実習の手引き

参考書

臨床実習教育の手引き 第6版 日本理学療法士協会 2020

授 業 科 目	単位数	年次	学期	時間数	担 当 教 員
(必) 臨床総合実習Ⅱ	10	4	前期	450	理学療法学科本校講師

授業概要

4年次に医療機関もしくは福祉施設における10週間の実習を行う。学内外で修得した知識と技術を、実習の対象者に応用し、将来理学療法士として対象者に接する際に必要な基本的知識・技術・態度を身につける。

学習目標

1. 基本的な評価および治療・訓練・指導などを実践することができる。
2. 理学療法関連の問題を解決するための能力として、理学療法プロセスを適切に展開することができる。
3. 専門職として適切な態度と習慣を身につけることができる。

授業計画

実 習 期 間	
令和7年5月12日(月)～7月19日(土)	臨床総合実習Ⅱ
令和7年8月13日(水)～8月29日(金)	臨床実習後試験・成果報告会

履修の認定

- 臨床実習指導者の評価 40%
- 臨床実習後試験（ペーパー試験、実技試験）30%
- 臨床実習ポートフォリオ 10%
- 成果報告会 10%
- 成果報告会資料 10%

教科書

臨床実習の手引き

参考書

臨床実習教育の手引き 第6版 日本理学療法士協会 2020